

研究課題名	「高齢者びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫（DLBCL）に対する減量ポラツズマブ ベドチン・リツキシマブ・シクロホスファミド・ドキシソルビシン・プレドニゾロン（Pola-R-CHP）療法の安全性・有効性の評価」
実施責任者	所属・職名： 血液内科 副院長
	氏名： 小島 由美
研究の概要	この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。ポラツズマブ ベドチン・リツキシマブ・シクロホスファミド・ドキシソルビシン・プレドニゾロン（以下、Pola-R-CHP）療法は、約 20 年ぶりに承認された未治療のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫（以下、DLBCL）に対する有効な治療法です。しかし、臨床試験（POLARIX 試験）において 80 歳以上の患者は含まれておらず、高齢者の安全性に関する情報は限定的です。この研究は、80 歳以上の高齢者 DLBCL に対する Pola-R-CHP 療法の安全性を明らかにすることを目的に行います。
対象となる個人情報	下記の臨床情報を診療録より取得させていただきます。 ・患者背景（年齢、性別、Performance Status [PS]、簡易 G8 スコア該当項目） ・疾患情報（原疾患、病期分類、発熱、体重減少、寝汗等の全身症状） ・治療開始前後および副作用発現時の検査結果（血液学的検査値、画像検査など） ・有害事象の種類と頻度、重症度 ・有効性（奏効割合、無増悪生存期間、全生存期間など）
実施の期間	西暦 2021 年 3 月 23 日より
	西暦 2026 年 3 月 25 日まで
研究対象	上記期間に当院で Pola-R-CHP 療法（およびそれに準じた治療）を受けた患者さん